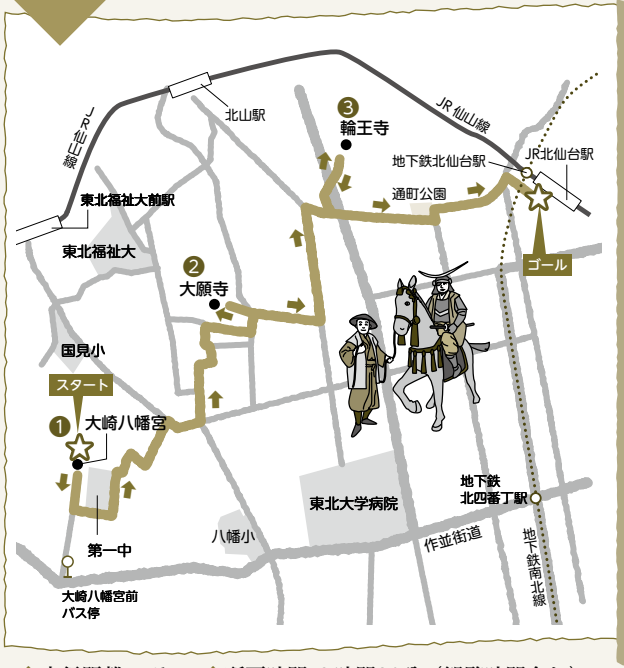
仙台（せんだい）まちあるき虎の巻

其（その）の七　今に受け継がれる伊達な文化を訪ねて



◆歩行距離:5.1㎞　◆所要時間:２時間30分（観覧時間含む）
※今回のコースは、せんだい旅日和「伊達な歴史の新体験」（ホームページhttp://www.sentabi.jp/culturalproperty/）を参照

今回は、藩政時代の歴史的建造物を巡ります。伊達文化の魅力に触れるため、新たに作ったモデルコースを歩きました。

仙台藩祖・伊達政宗公が慶長12年（1607年）に創建した大崎八幡宮（図❶）からスタート。門にあたる素木造（しらきづくり）の長床（ながとこ）を通ると、黒漆の社殿が姿を現します。極彩色（けんらん）に彩られた彫刻や金具で飾られた社殿は、豪華絢爛で圧倒的！桃山建築の特徴がよく表されています。

▲大願寺の本堂よりさらに奥へ進み、堀に架けられた橋を渡ると、政宗公の灰塚が

次は、政宗公の「灰塚」が残る大願寺（図❷）へ。伊達家独特の葬制により築かれた塚で、亡きがらは瑞鳳殿に埋葬されていますが、葬儀では空のひつぎを火葬し、その灰がここに埋められています。周りを堀で囲まれ、山野草が生い茂る中にある、政宗公ゆかりのスポットです。

さらに北へ進み、政宗公の居城が岩出山から仙台に移ると共に、慶長7年（1602年）に現在の地に移ってきた輪王寺（図❸）へ。山門から本堂まで続く美しい参道は、両側に木が立ち並び、まるで木のトンネルを歩いているよう。四季折々の表情を見せる庭園は、これからの季節、木々が鮮やかに色づき秋の風情が感じられるようになります。

▲輪王寺の山門。明治９年の北山の大火では、辺り一帯が焼失する中、この山門だけが残りました。（庭園見学には、拝観料300円がかかります）

モデルコースでは、この他にも３つの寺、一休みできるカフェなどを巡り、北仙台駅でゴール。移り変わる都市風景の中、400年以上前の面影を残す場所を訪ね歩き、仙台の歴史を感じてみませんか。

問観光課☎214・8260、FAX214・8316

ごみ減量・分別の豆知識

WAKE UP!! ワケアップ！仙台

お買い物にはマイバッグを

スーパーにはマイバッグを持って行く人も、コンビニではついもらってしまうレジ袋。お店で100枚のレジ袋を断ると、約1.4リットルの原油が節約できます。また最近では、レジ袋やストローなどのプラスチックごみが海を汚し、海洋生物へ悪影響を及ぼしていることが問題になっています。

10月は、「包装削減キャンペーン」として、ごみ減量を進めるためレジ袋削減などを呼び掛けています。マイバッグの利用を心掛け、レジ袋はもらわないようにしましょう。

問家庭ごみ減量課☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ！　ワンポイント防災講座

バッグの中に防災グッズ

外出先で災害に遭うことを、考えたことがありますか。いつ、どこで被災するかは分かりません。普段から、バッグの中に「防災ポーチ」を入れて持ち歩くことをお勧めします。

ポーチの中身は、緊急時に助けを求めるホイッスル、夜間用のライト、薄くて軽いアルミブランケット、ウエットティッシュ、ばんそうこう、携帯電話充電用バッテリーなど、自分が必要なものを選んで入れてください。あめなどの甘い物は、気持ちを落ち着かせるアイテムにもなります。

問減災推進課☎214・3109、FAX214・8096